

## 12 ラークスパー

### 1 試験区ならびに調査対象株数

項目		必要株数(最少株数)	必要面積(最小面積) <sup>(1)</sup>
試験区(1区当り)		30株(18株)	1.35m <sup>2</sup> (0.68m <sup>2</sup> )
調査対象 (1区当り)	生育調査等	30株(10株)	1.35m <sup>2</sup> (0.45m <sup>2</sup> )
	収量調査等	30株(10株)	1.35m <sup>2</sup> (0.45m <sup>2</sup> )

(1)栽植密度を株間12cm、条間12cm、6条植え、a当たり2667株としたときの面積

### 2 生育調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁
播種期		播種をした日	A	観察	月日	1
発芽良否		発芽の揃い、発芽勢の程度を観察 [極良]:5~[中]:3~[不良]:1	B	観察	指数	1
定植期		定植をした日	A	観察	月日	1
定植時の 苗質	草丈	地際部から葉の先端まで	C	測定	cm	0.1
	葉数	展開葉	B	測定	枚	0.5
抽台期		50%の株に抽台を認めた日	C	観察	月日	1
出蕾期		50%の株に出蕾を認めた日	C	観察	月日	1
開花期		50%の株に開花を認めた日	C	観察	月日	1
採花始 <sup>(2)</sup>		採花数 <sup>(1)</sup> が定植株数の10%に達した日	A	観察	月日	1
採花期		採花数が定植株数の50%に達した日	B	観察	月日	1
採花終		最終採花日又は、採花打ち切り日	A	観察	月日	1
採花期間		採花始から採花終までの日数	C	算出	日	1
到花日数		播種期から採花期までの日数	B		日	1
在圃日数		定植期から採花終までの日数	C		日	1
障害の種類と発生程度		重要なものについてはその名前を表記する [無]:0、[少]:1、[中]:2、[多]:3、[甚]:4	B	観察	指数	1

(2)採花適期(切り前):花穂1/2の花蕾の開花を見た時

### 3 採花・収量調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁
a当り	採花数		A	算出	百本	1
	規格別採花数	北海道切花統一出荷基準による	B	算出	百本	1
	階級別採花数	切り花長で90cm、80cm、70cm、60cm以上、 60cm未満に分級	B	算出	百本	1
花飛び花穂率		連続して3花蕾以上花飛びしている花穂	B	算出	%	1
芯止まり率		成長点が軟化黒変した株の割合	B	算出	%	1
奇形花穂率		奇形花穂の割合	B	算出	%	1
採花率		(採花本数/全定植株数)×100	A	算出	%	1

### 4 採花期前後における切り花特性

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁
切花長		切り花基部から花の先端までの長さ	A	測定	cm	1
切花重		採花したそのまゝの重量	B	測定	g	1
調製重 <sup>(3)</sup>		切り花長90cmに調製したときの重量	B	測定	g	1
花穂長		最下位花梗着生部から頂端までの長さ	C	測定	cm	1

草姿全体	着花密度	花蕾数／花穂長	C	算出		0.1
	花穂長	最下位の花蕾の花穂の長さ	A	測定	cm	0.1
	茎の曲がり	主茎花穂と切り口を結ぶ線からの曲がり [無]:0、[小]:1、[中]:3、[大]:5	C	観察	指数	1
	花蕾数	主径花穂に着蕾した花蕾の数	C	測定	個	1
	節数	切り花の花穂の最下位の花蕾までの節数	C	測定	個	1
	花穂数	主茎花穂以外の花穂数	C	測定	個	1
茎	茎の硬さ	[極硬]:5～[中]:3～[極軟]:1	C	観察	指数	1
	茎径	切り口および花穂直下の最大径	B	測定	mm	0.1
葉	葉身長	最大葉の長さ	C	測定	cm	1
	葉身幅	最大葉の幅	C	測定	cm	1
花	花径	満開花の最大径	B	測定	cm	0.1
	花色のむら	花色のバラツキとその程度	C	観察		
	花弁色	主体となる地色、可能ならばJHSカラーチャートの コードNo.又は色彩色差を付記	B	測定		
	花形	一重咲き、八重咲き等	B	観察		
日持ち性 <sup>(4)</sup>	水揚げの良否	良、中、不良	C	観察		
	日持ちの良否	良、中、不良又は日数	B	測定	(日)	1
	採花後の開花性	良、中、不良又は割合	C	観察	(%)	1

(3) 調製方法: 切り口から20cm以内の下葉と下枝を取り除く

(4) 日持ち性: 室温(20℃程度)における調査

